

今堀拓也 Takuya IMAHORI



玉川大学文学部芸術学科卒業、パリ・エコール・ノルマル音楽院修了、フランス国立音響音楽研究所 IRCAM 作曲研修課程修了、スイス・ジュネーヴ州立高等音楽院修士課程修了。2017年イタリア国立ローマ・アカデミア・サンタチェチリア研究科課程を満点賞賛付き最高位評価で修了。ならびにミラノ市立クラウディオ・アバド音楽学校指揮予備科修了。土居克行、三界正実、平義久、ジャン＝リュック・エルヴェ、フィリップ・ルルー、ミカエル・ジャレル、ルイス・ナオン、イヴァン・フェデーレに作曲を師事、ローラン・ゲイ、杉山洋一に指揮を師事。2001年ガウデアムス賞(オランダ)受賞。ドナウエッシンゲン音楽祭(ドイツ)、ラジオフランス・ブレザンス音楽祭などで作品が演奏。2018年4月より6月までオーストリア共和国文化庁ウィーン芸術レジデンス招聘作曲家に選出。2019年パーゼル作曲コンクール(スイス)第3位受賞。同年、イタリア共和国マッテレッラ大統領よりゴッフレード・ペトラッシ賞奨学金を受賞。2020年、KLANG! 国際作曲コンクール(フランス)で第1位およびモンペリエ国立オペラ管弦楽団特別賞を受賞。2024年3月より5月までブラジル・イタパリカ島の芸術レジデンス・サカタールに選出され滞在。

植物や山河の自然に着想を得た作品が多く、単に詩的な感動だけでなくそれらに潜む数学的なフォームなどを作曲システムに活かしている。

<https://takuyaimahori.mystrikingly.com>

松波匠太郎 Shoharo MATSUNAMI



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程作曲専攻修了。在学中、同声会賞受賞。文化庁文化芸術アソシエイツ第1期生修了。第82回日本音楽コンクール作曲部門第二位、併せて岩谷賞(聴衆賞)受賞。第8回JFC作曲賞。これまで作曲を小山薫、浦田健次郎、川井學、土田英介の各氏に、常磐津節を常磐津文字兵衛氏に師事。現在、名古屋音楽大学特任准教授、桐朋学園大学、エリザベト音楽大学各非常勤講師。日本作曲家協議会理事、日本現代音楽協会会員。

近作に《管弦楽のための「SENITSU」》(Orch./2022・ミュンヘン)、《シャブリ・シンフォニー》(Cl.Vn.Vc.Pf./2022・自由学園明日館)、《組曲「空のふとろ」》(Ryuteki, Uta, Pf. Shamisen, Vc./2022・ミレニアムホール、紀尾井小ホール)、《独奏ヴァイオリンのための「the End of...」》(solo Vn./2022・東京オペラシティ)、《Desk Drumming 1,2》(Perc./2022・教育芸術社)、《弦楽四重奏曲第3番「浄」》(Strings Quartet/2023・ミュンヘン)、《音楽劇「手ぶくろを買いに」》(Chor.Pf.Synth./2023・東京書籍)、《Body Beats 1,2》(Perc./2023・教育芸術社)、《独奏バスーンとライブエレクトロニクスのための「STUDY」》(solo Bsn. Elec./2023・名古屋造形大学)

森垣桂一 Keiichi MORICAKI



東京藝術大学作曲科卒業。1975年より、パリ国立高等音楽院で音楽理論と作曲を学ぶ。第42回日本音楽コンクール作曲部門第1位受賞。第27回ヴィオッティ国際音楽コンクール作曲部門入賞。オーケストラ・プロジェクト99の作曲家として平成11年度芸術祭優秀賞受賞。1998年、サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科卒業。作曲を矢代秋雄、三善晃、尾高惇忠の各氏に、音楽理論をアンリ・シヤラン、ジャン＝クロード・アンリの各氏に師事。国立音楽大学および大学院教授、東京学芸大学特任教授、東京藝術大学作曲科、桐朋学園大学各講師を歴任。現在、東京音楽大学講師、日本現代音楽協会副理事長、日本作曲家協議会、21世紀音楽の会各会員。

■主要作品
ソプラノとピアノのための<牡丹>、オーケストラのための<レクイエム>(1999)、オーケストラのための<イン・メモリアム>(2003)、源氏物語より<夕顔>(2006)、打楽器アンサンブルのための<ミステリウム>[国立音楽大学委嘱](2015)、<ヴァイオリン協奏曲第2番>(2016)、<パルティータ〜弦楽五重奏のための〜>(2017)、<合奏協奏曲>[国立音楽大学委嘱](2017)、<交響曲>(2018)、電子オルガンのための<Emotional Sequence>(2021)、ヴァイオリンとピアノのための<ミステリウムII>、<Symphonie des Mystères>(2022)。著書に「楽譜でわかる20世紀音楽」(ARTES)共著の他、音楽之友社からミニチュア・スコアの解説と分析が多数出版されている。

山内雅弘 Masahiro YAMAUCHI



東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。クルーズ国際ピアノ会議作曲コンクール第1位(フランス)、シルクロード管弦楽作曲コンクール入賞、日本交響楽振興財団作曲賞入選(第17回、第23回)、文化庁舞台芸術創作奨励賞(合唱組曲)。第16回朝日作曲賞を吹奏楽、合唱曲の両部門で同時受賞。受賞作品は2006年度の全日本吹奏楽コンクール、全日本合唱コンクールの課題曲となる。第2回東京佼成ウインドオーケストラ作曲コンクール第1位、第21回芥川作曲賞を受賞。2021年6月に初の作曲展を東京文化会館小ホールにて開催。第6回東京国際合唱コンクール2024(学校合唱部部門/ユース部門)の課題曲を作曲。作曲を本間雅夫、北村昭、八村義夫、南弘明、松村禎三、黛敏郎の各氏に師事。東京藝術大学作曲科非常勤講師などを経て、現在、東京学芸大学教授。日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会副会長、オーケストラ・プロジェクト代表。

■主要作品
架空の伝説のための前奏曲、宙の形象—ピアノとオーケストラのための、管弦楽のための協奏曲、主題の無いパッサカリア—オーケストラのための、SPANDA—ヴィブラフォンとオーケストラのための、女声合唱組曲「天使のいろいろ」(カワイ出版)、「合言葉」(教育芸術社)2014年9月にはオーケストラ作品集CDをリリース(ALCD-99)。
<http://masahiro-official.jimdo.com>
<https://twitter.com/compmMY>
<https://www.facebook.com/yama756912>

上野耕平 Kohei UENO (サクソフォン奏者)



茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サクス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。また、スコットランドにて行われた第16回世界サクソフォンコンGRESSでは、ソリストとして出場し、世界の大御所たちから大喝采を浴びた。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ、ソリストとしてNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラと共演。並行してサクソフォン四重奏「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽団「ばんだウインドオーケストラ」としても勢力的に活動し、クラシックと吹奏楽を両軸に、上野耕平ワールドを築き上げてきた。また、テレビ「題名のない音楽会」「妄想トレイン」への出演、NHK-FM「X(かける)クラシック」の司会などメディアとの相性も良い。音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。CDデビューは2014年「アドルフに告ぐ」。そして、2015年には「ばんだウインドオーケストラ」、2017年には「The Rev Saxophone Quartet」としてもCDをリリース。最新作は5枚目のソロアルバム「Eau Rouge」(23年9月発売)。<https://uenokohei.com>

access

東京オペラシティ コンサートホール
<http://www.operacity.jp/>
〒163-1403新宿区西新宿3-20-2

【電車】
京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)
初台駅東口下車 徒歩5分以内
都営地下鉄大江戸線
西新宿五丁目駅 A2出口より徒歩約17分
小田急線
参宮橋駅より徒歩約14分
【バス】
新宿駅西口よりバス約10分
(京王バス: 宿41/宿45 [幡ヶ谷不動尊]下車)
渋谷駅西口バスターミナルよりバス約20分
(京王バス: 渋64 [東京オペラシティ]下車)
(京王バス: 渋63/渋66 都営バス: 渋66 [東京オペラシティ南]下車)